

【資料3】

一里塚整備検討資料

【鴨之巣一里塚】

◎整備の方向性

- ・ 盛土流失対策を行う。
- ・ 立ち入り対策は行わない（ただし、鎖の破損等の場合は修繕を行う）。
- ・ 獣害対策を行う。
- ・ 立木の伐採を想定する。



写真1 鴨之巣一里塚_現況



写真2 鴨之巣一里塚_現況

◎整備手法

- ・ 盛土流失対策は、将来の復元整備も考慮して、手法①（養生シート敷設）、②（むしろ敷設）を検討する。

※シート等については、周囲の景観に調和する色調・素材の選定に努める。

	①	②	③	
	1: 養生シート	2: むしろ	植生基材吹付（種子等）	張芝
概要	部分的な流出がみられる箇所に、盛土を充填し形状を整形したのちに、表土流出を防止できるよう肥料を混入させ植物の生育を促すシートを一里塚全体に敷設する。	左記養生シートよりも簡易的な工法として、むしろや“わらむしろ”に種子や肥料袋を巻きつけたものを一里塚全体に敷設する。	部分的な流出がみられる箇所に、盛土を充填し形状を整形したのちに、種子や肥料などを混合し、一里塚全体に法面に吹き付ける。	部分的な流出がみられる箇所に、盛土を充填し形状を整形したのちに、一里塚全体に張芝を行う。
参考写真				
安定性	シートが露出している期間、植生している期間ともに地盤と活着するため、表土は流出しない。 ○	シートが露出している期間、植生している期間ともに地盤と活着するため、表土は流出しない。 ○	吹付後、活着まで時間を要するが、植生資材で養生することにより対策可能。 ○	芝の活着までは不安定になる恐れがある。活着後は安定する。 △
景観性	製品自体は自然色に近いが、施工直後は一里塚の表土色とは異なるものになる。 △	製品自体は自然色に近いが、施工直後は一里塚の表土色とは異なるものになる。 △	施工直後から自然な風合いとなる。 ○	芝を直接敷設するため、施工直後から自然な景観となる。 ○
施工性	シート敷設後のピン留めのみであるため、人力で施工可能である。 ○	むしろの網目に竹串などを差し込むのみであるため、人力で施工可能である。 ○	吹付機を使用することから、車両等の搬入が必要になる可能性がある。 △	人力で敷設可能である。 ○
経済性	シートの製品内容により振幅はあるが、2,000～3,000円/m2程度。 ○	1,000円/m2未満。 ○	4,000円/m2程度。 △	張芝のみの場合1,500円/m2程度。植栽客土を巻きと3,000円/m2程度。 ○

- ・ 獣害対策は、電気柵の設置、またはソフト面での対応（忌避剤の散布等）を検討する。
- ・ 立木の伐採は、根腐り防止のため、樹種により適切な伐採方法を検討する。

【奥之田一里塚】

◎整備の方向性

- ・ 盛土充填を行う。
- ・ 立ち入り対策は行わない（ただし、鎖の破損等の場合は修繕を行う）。
- ・ 獣害対策を行う。
- ・ 立木の伐採を想定する。



写真3 奥之田一里塚_現況



写真4 奥之田一里塚_現況



写真5 奥之田一里塚_現況

◎整備手法

- ・ 盛土充填は、植生土のうの設置、または土砂充填を検討する。また、盛土の流失が危惧される場合は手法①（養生シート敷設）、または②（むしろ敷設）の併用を検討する、
- ※土のう、シート等は、周囲の景観に調和する色調・素材の選定に努める。

※植生土のうを使用する際は、周囲の景観・環境に調和する土のうの色調、種子選定に努める。

- ・ 獣害対策は、必要に応じてソフト面での対応（忌避剤の散布等）を検討する。
- ・ 立木の伐採は、根腐り防止のため、樹種により適切な伐採方法を検討する。

【八瀬沢一里塚】

◎整備の方向性

- ・ 盛土流失対策は行わない。
- ・ 立ち入り対策は行わない（ただし、鎖の破損等の場合は修繕を行う）。
- ・ 獣害対策を行う（必要に応じて）。



写真6 八瀬沢一里塚_現況



写真7 八瀬沢一里塚_現況

◎整備手法

- ・ 獣害対策は、必要に応じて電気柵の設置、またはソフト面での対応（忌避剤の散布等）を検討する。

【権現山一里塚】

◎整備の方向性

- ・ 盛土流失対策は行わない。
- ・ 立ち入り対策は行わない。
- ・ 獣害対策を行う（必要に応じて）。

◎整備手法

- ・ 獣害対策は、必要に応じて電気柵の設置、またはソフト面での対応（忌避剤の散布等）を検討する。